

光・風・音のある学校

かなづ

自ら学び、心豊かで、たくましく生きる金津っ子の育成 **9月号 令和5年9月1日**

実り多い2学期に！

校長 榎 千穂子

夏休みが終わり、いよいよ2学期を迎えました。38日間の長い間、何よりもまず、子供たちが大きな事件・事故に巻き込まれることなく、安全に過ごすことができましたことを、保護者・地域の皆様に感謝いたします。今年は4年ぶりのプール開放が行われるということで、楽しみにしていた子どもも多くいたのではないかと思います。暑すぎる夏の気温にプールでの安全確保が難しく、開放できたのは2日間のみとなってしまいました。以前のプール開放中止と言えば、雨天や落雷、低温でしたが、今後は、感染症や異常気象なども含め、様々なことを考慮しながら対応していく必要があると改めて感じた夏でした。

さて、学校においては、夏休み中も大切な行事がありました。

8月22日(火)、今年も「奉仕の塔」供養を行いました。この日は、本校にとって忘れてはならない日となっています。72年前の昭和26年の当日、上田名にありました旧金津小の敷地拡張の奉仕作業中に、2名の尊い命が土砂崩れのために犠牲となる痛ましい事故がありました。その方々の遺徳を偲ぶため建立された「奉仕の塔」に6年生と行き、清掃活動と供養を行いました。子供たちには金津で育ったことを誇りに思い、この出来事を風化させることなく受け継いでいってほしいと思います。今年は150周年の節目の年ということもあり、様々な場面を映像クリエイターの方に撮影していただいております。「奉仕の塔」を風化させないために、供養の様子も撮影していただき、記録に残しました。記念式典の中でもその一部を公開いたします。この供養に際し、地域のご協力と大勢の皆様のご参加をいただきました。ありがとうございました。

また、4年ぶりに行われた8月27日(日)の「PTA親子奉仕作業」では、朝早くから運動場の草取りや金津の森のチップまきにご協力をいただきました。保護者OBの方々も駆けつけてくださり、チップまきや「わくわくハウス」前の朽ちたテーブルと椅子の処分をしてくださいました。お蔭様で、2学期に向けて外回りの環境も整ってきました。暑い中、本当にありがとうございました。

まだしばらくは厳しい暑さが続きそうですが、2学期は、学習や運動に打ち込むには最適な季節であり、各種コンクールや運動会、マラソン大会、150周年記念式典など多くの行事が予定されています。ぜひ実り多い2学期となりますよう、保護者や地域の皆様には、一層のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。私たちも、子供たちが安心して学校に通えるよう、2学期も知恵を出し合い、力を合わせて頑張っていきます。

